

3月27日、無事、大阪に到着しました。

今週から、大阪では桜が満開です！

写真は、大阪での滞在先近くの船場の運河（堀川）に架けられた橋のひとつである、高麗橋の下に咲いている桜の花です。



高麗橋（こうらいばし）と名付けられたのは、豊臣秀吉の大坂町割りの際、このあたりに朝鮮との交易の拠点があったからと言われています。

今回は、高麗橋から直角に伸びる松屋町筋を南に10分ほど行ったところにある、日本橋近くの韓国人教会「大阪中央バプテスト教会」で、日本で春の最初の礼拝コンサートをさせていただきました。

●大阪中央バプテスト教会(韓国人教会)

初めて在日韓国人教会にてコンサートをさせていただくということで、私は今回、特別の祈りをもって、この日に臨ませていただきました。それは、数年前から私の中で、「和解の働き」がひとつのテーマであったからです。少し長くなりますが、また、これまでもメルマガに書かせていただいたことと重複しますが、その経緯を説明させていただきたいと思います。

1983年、私は大好きだったスペイン歌曲を学ぶためにマドリッド国立声楽院に入学しました。当時、Yさんという韓国人留学生がいました。Yさんは、廊下ですれ違っても、同じ授業に出席していても、意識的に私を避けているようでした。ある日、スペイン人の学友が私にこう言いました。「Yさんは日本人とは話しをしたくないらしい。戦時中、日本は韓国にひどいことをしたから」。私は驚きました。それまで、日本が韓国にひどいことをしたなど聞いたことがなかったからです。それである日、私はYさん呼び止めて謝罪したのです。と言っても、「日本が韓国にひどいことをしたらしい。私は何も知らなかった。申し訳ないことをした」という程度の、簡単な謝罪だったと思います。でもYさんは、それから私にニコニコしながら挨拶してくれるようになりました。

次第に、私は、その方々への謝罪の意を込めて、賛美をもって仕えさせていただくことができ、と真剣に祈るようになりました。そのような中、2005年の春、パリとミラノの韓国人教会でコンサートをさせていただく機会が与えられました。そこで私は、韓国人のために、「君は愛されるため生まれた」（以下、「君愛」と略記）を、コンサートの最後に、韓国語で、心を込めて賛美させていただこうと思いました。

コンサートの2ヶ月前、ハンブルクに住む韓国人クリスチャン女性声楽家に、韓国語の発音指導をお願いしました。彼女は、「アツコが韓国人に謝罪の思いを表明したいなら、この歌を韓国人のように歌うことです」と言って、数回に渡って猛特訓をしてくれました。韓国語の発音は、決して易しいものではなかったため、毎日録音テープを聞きながら練習しました。コンサートの日まで、「君愛」の韓国語の歌詞が、

寝ても覚めても頭の中を駆け巡るようになりました。そして、歌詞のひとつひとつを心に刻むごとに、不思議と自分がひとりの韓国人として歌っているような気持ちになってゆきました。

そうしてパリとミラノへ向かい、コンサートの始めに謝罪をさせていただいた時、涙が溢れました。それは、ほんとうに申し訳ない、という思いと同時に、自分の内側に韓国人の痛みをひしひしと感じたのです。その人の立場に立って、初めて心からの謝罪ができることを、私はその時悟りました。そしてコンサートの最後、発音は完璧でないにしても、内側は韓国人になりきったような思いで「君愛」を歌わせていただきました。



今回のコンサートは礼拝でしたので、まず皆さんとともにひとつ御霊にあって神の御前に立たせていただこうと思いました。ヨルダンでひいた風邪の後遺症の痰のからみから今だ解放されず、声の調子は今一つであったのですが、心から主をほめたたえ、主のみわざを証しさせていただきました。

そして、最後に、「君愛」の歌の合間に、私の謝罪の気持ちをお伝えしました。そうしましたら、年配の方だけでなく、多くの若い方々も涙を流されたのです。そのとき、韓国人が、多くの痛みと苦しみを通ってこられたことを思いました。多くの方たちが、主の愛によって日本を赦し、愛し、「何よ

りも日本人の救いのために」と、コンサート前の数日間を、24時間連鎖断食祈禱をもって、この日に備えてくださった皆さんの熱い思いと祈りに、感謝に堪えませんでした。

●4月のコンサートのために祈ってください

—どうぞ、この者の声のために祈ってください。体の方は全く普通なのですが、痰のからみがなかなかとれません。

—また、何よりも、砕かれたたましいをもって、主を心から礼拝賛美することができますよう、そして、多くの方々のたましいに、主が触れてくださいますよう祈ってください。

—4月17日からの中国での賛美奉仕のために祈ってください。主が多くの人々のたましいに語りかけてくださいますように。

4月11日(土) 大阪、チャペル・こひつじ
「COME TO ME 工藤篤子イースターコンサート」午後2時
連絡先：教会 072-255-7707

4月12日(日) 大阪、北浜インターナショナル・バイブル・チャーチ
イースター賛美特別礼拝 10:30 連絡先：教会 06-6226-1334

4月17日(金)～22日(水) 中国
19日(日) 中国、杭州、OMF 公認教会 崇一堂 賛美コンサート

21日（火）中国、杭州、長老派公認教会 思澄堂 賛美コンサート

4月26日（日）堺栄光教会 讚美コンサート 15:00 連絡先：教会 072-363-4690

今日は、主が弟子たちの足を洗い、最後の晩餐の時を持たれた洗足木曜日です。ゲツセマネで血のような汗を流して祈られました。そして捕えられ、明日は、主が十字架にお架かりになった受難日です。主が私たちの罪を贖うために迎られた苦しみの道を忍びながら、11日、12日のイースター・コンサートに備えさせていただきたいと思っています。

皆様の上にも、十字架の愛が満ち溢れる時となりますように！

工藤篤子